

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
5. 税制						
1	日機輸	不明確な税制・行政手続	・円借款/無償案件での税金の免税（還付）について、税務当局が認識していない。また、VATの免税・還付の手続きについても同様で、円滑な運用になっていない。	継続	・制度・情報の周知徹底と円滑な運用。	
7. 駐在員・出向者等に関する問題						
1	日機輸	ビザ・就労許可取得手続の煩雑・遅延	・Work Permitを取得する手続きが複雑（例：高校、大学の卒業証明はいが、それぞれの存在証明まで求められるもので、高校存在証明に関しては各自治体に照会してもその様な要求前例がなく戸惑われるケースがある）で時間を要する。	継続	・手続きの緩和、簡易化。	
10. 環境問題・廃棄物処理・炭素中立関連の諸規制						
1	日機輸	二国間クレジット制度の未締結	・日系企業によるアフリカでの再エネIPP参入において、価格競争力が問題となるケースが多い。二国間クレジット制度（JCM：Joint Crediting Mechanism）が締結されることで、EPC価格の低減を図ることができ、価格競争力を高める期待を持っている。	新規	・ケニア、エチオピア、セネガル、チュニジアと締結国が増えたことに歓迎。 アフリカ各国（二国間協議中のベナン含め）と、JCM締結を進めて頂きたい。	
11. 非能率な行政手続き・予見性を欠く法制度等						
1	日機輸	公的書類での使用言語要求	・公的機関への提出書類はすべからく、ポルトガル語での作成が求められる。	継続	・書類作成言語に英語を含めて欲しい。	